

特殊事案研究コース

- 受講日数 3日間 集合研修
- 対象者 3級技能ランク以上登録者または同等の技能を有する者

目的

整合性判断の事例や考え方の解説、側面衝突事故再現や実車を用いた衝突事例研究結果の解説、弁護士による講義等により、不正疑義事案の解決に向けた調査技術を学ぶ。

概要

不正請求防止に対する取組	損害保険の社会的役割と不正請求防止策の必要性、保険金詐欺の現状、損保業界における保険金不正請求対策への取組
不正請求疑義事案への対応	基本的なスタンス、疑義態様別の分類化とその重要性、不正請求疑義事案調査の基本事項、調査事例
衝突形態の推定	事故再現手法の基礎、衝突事故の解析手順例、衝突のメカニズム、車両衝突事故の再現手法、衝突形態推定のポイント、事故状況の推定実習
衝突実験データの事例研究	損傷観察の構成、整理、損傷事例、衝突相手物と損傷の関係、入力方向の判断、入力数と順序、衝突態様、バンパ損傷の特徴
衝突実験	ポール衝突実験
車両盗難調査	自動車盗難の現状、要因と対策、初動調査、立会調査
交通事故現場調査	損傷車両の記録、付着物の採取・分析、特殊事案の現場調査
転落、水没事案の調査	調査のポイント、河川への転落事例、転落事案調査
民事訴訟におけるアジャスターの役割	不正請求疑義事案対応の基本姿勢、技術アジャスターと弁護士の役割、民事裁判とは、事例研究（裁判例）

カリキュラム

	1日目	2日目	3日目
9:00		不正請求疑義事案の調査例 /事例研究	転落・水没事案の調査 交通事故現場調査
10:00		衝突形態の推定 衝突事故の解析手順 — 解析事例 —	盗難車両調査
11:00			昼食
12:00		昼食	
13:00	開講式 (13:00~13:10) 不正請求防止に対する取組 -オリエンテーション-	事故状況の推定実習	民事訴訟における アジャスターの役割
14:00	不正請求疑義事案への対応		研修のまとめ
15:00			修了式 (16:00~16:10)
16:00	バリア衝突実験		
17:00	不正請求疑義事案の調査例 /事例研究	講師解説	
18:00	夕食		